



労働政策研究報告書 No. 85

2007

JILPT : The Japan Institute for Labour Policy and Training

『団塊の世代』の就業と生活に関する調査研究報告

—「『団塊の世代』の就業と生活ビジョン調査」データ分析—

『団塊の世代』の就業と生活に関する調査研究報告

—— 『『団塊の世代』の就業と生活ビジョン調査』データ分析 ——

まえがき

いわゆる「団塊の世代」の先頭集団（昭和 22 年生まれ）が本年（平成 19 年／2007 年）には 60 歳台入りをし、いよいよこの世代のいわゆる高齢・引退過程入りが始まる。このことを背景に今後のわが国経済社会の行方をめぐって種々の議論が交わされている。楽観、悲観、あるいは中立いずれをとるにせよ、その動向は「団塊の世代」の人々の考えや生活設計に大きく依存することは間違いのないところである。

このため、労働政策研究・研修機構においては、これらのことを明らかにするために基礎となるデータを広く提供するとともに、適宜の分析を通して「団塊の世代」の今後における高齢期の就業や生活の方向性に関する一つの試論を提供し、政策担当者を始めとして関係者における議論の活性化を図ることを目的として、前年に当たる平成 18 年（2006 年）において、「団塊の世代」を対象に今後の引退過程における就業をはじめとする生活設計や見通しなどについて調査研究を行うこととした。

調査研究は、清家篤氏（慶應義塾大学）、佐藤厚氏（同志社大学）などの外部の研究者にも参加いただき推進してきたが、その一環として「団塊の世代」の男女と「団塊の世代」を夫に持つ妻を対象とした『団塊の世代』の就業と生活のビジョンに関する調査（平成 18 年 10 月実施）が実施された。その結果の概要は先に JILPT 調査シリーズ No.30 として公表したところである。この研究報告書は、研究参加者のそれぞれの問題意識に基づき、データに更なる分析を加え、その結果をとりまとめたものである。

ご協力いただいた皆様にあらためて感謝申しあげるとともに、この研究報告書が、この問題に関心を持たれる方々に広く読まれ、関係者におけるこの問題に関する活発な議論の展開に資するところがあれば望外の喜びである。

平成 19（2007）年 4 月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 小 野 旭

執筆担当（初出順）

氏名	所属	執筆担当箇所
浅尾 裕	労働政策研究・研修機構 主席統括研究員	序章、第7章
佐藤 厚	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授	第1章
馬 欣欣	慶応義塾大学大学院商学研究科	第2章
	／同経商連携 21世紀COE研究員	第4章（共著）
	労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員	
小倉 一哉	労働政策研究・研修機構 主任研究員	第3章
清家 篤	慶応義塾大学商学部教授	第4章（共著）
南雲 智映	早稲田大学アジア太平洋研究センター助手	第4章（共著）
	／慶應義塾大学産業研究所研究員	第5章
藤本 隆史	労働政策研究・研修機構 アシスタント・フェロー	第6章

目 次

序 章 調査研究の概要	1
第1章 職業キャリアと高齢期の就労見通し	7
第1節 はじめに	7
第2節 働く側からみた就労意欲の分析	8
第3節 高齢期の雇用管理制度からみた傾向と特徴	13
第4節 就業継続理由・希望する仕事・期待収入水準	19
第5節 希望する働き方とライフスタイル	23
第6節 まとめ	27
第2章 「団塊の世代」の職業キャリアのタイプと就業形態の選択	30
第1節 問題所在	30
第2節 先行研究と本稿の特徴	31
第3節 分析枠組	35
第4節 職業キャリアタイプおよび就業状態の状況	39
第5節 計測結果	48
第6節 まとめと今後の課題	54
第3章 職業キャリアの「おはこ」に関する分析	58
第1節 「おはこ」の分類	58
第2節 「おはこ」と諸属性とのクロス集計	59
第3節 「おはこ」に関する計量分析	65
第4節 まとめ	72
第4章 過去の職業経験と就業意欲	88
第1節 団塊の世代への大きな期待	88
第2節 基本仮説	89
第3節 実験計画	91
第4節 計測結果	92
第5節 分析の留保条件	116
第6節 まとめ	116
第5章 団塊世代と労働組合	118
第1節 組織化対象としての団塊の世代	118
第2節 労働組合加入者の属性と加入しない理由	118
第3節 先行研究と仮説の設定	130
第4節 定年後の労働組合加入意向にかんする分析枠組み	132
第5節 分析結果	133

第6節	分析の限界と今後の課題	144
第7節	まとめ	144
第6章	「団塊の世代」の職業キャリアと仕事・会社との関わり方	146
第1節	団塊の世代と「会社人間」	146
第2節	仕事・会社に対する意識	148
第3節	職業キャリアと仕事・会社に対する意識	155
第4節	職業キャリアと今後の生活	158
第5節	「会社人間」や「仕事人」から「バランス人」へ	161
第7章	「団塊の世代」の今後における「引退過程」の諸相	166
第1節	平成18年における「団塊の世代」の就業状況	166
第2節	「団塊の世代」雇用者の就業・引退過程の素描	167
第3節	高齢期における「団塊の世代」の雇用・就業形態の変化	175
第4節	職業とともに注目されるボランティア活動への参加	192
第5節	「団塊の世代」の高齢期における転居見込みと「Uターン」	196
第6節	「団塊の世代」の男性の妻たちの生活満足度と家庭生活への回帰	204
第7節	まとめ	210